



## 避難者による社会

校長 三澤 亘潤

能登半島地震という衝撃的な幕開けとなった令和6年、8月8日には、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表に至った日向灘震源の地震が発生しました。また、「非常に強い」台風10号への警戒は、現在進行形の脅威となっています。

特に近年にあっては、「命を守る行動を！」と警戒を促される規模の地震や風水害が頻発しており、前触れなしの危機において、まず、自らの命を守る「自助」のスキルと、それを支える思考力を育成することが急務です。そして、社会の一員として、相互に支え合う「共助」の在り方を、自分事として捉え、実践力を育む機会が必要です。

本校は、令和5年度から2年間、柳沢中学校とともに、東京都安全教育推進校として、安全教育に係る先進的な指導を開発する役割を担っています。教育目標「自ら伸びる」を掲げ、また、コミュニティ・スクールとして、「安全・安心」を地域との互恵的な協働の軸に据える本校にあって、こうした安全教育は、地域全体で児童の思考力や判断力を育て、まさに文字通り、「生きる力」のゆりかごとなるものです。

そこで、土曜学校公開の機会に、総合的な防災体験学習・避難所開設訓練を小中共催で実施し、広く保護者・地域に公開します。昨年度を踏襲しつつ、新たな視点の要素も大胆に加えます。私達は、地域とともに考え、失敗から学びます。

避難所は、サービスを受取る場所というより、避難者による社会であると考えます。当日は、下記の要領で、避難所運営協議会長が開設を宣言する「避難所」に、「避難者」として参画いただき、児童とともに運営を支えていただけるよう、ご案内申し上げます。

### 記

1. 実施日時 令和6年9月14日（土）午前9時～正午
2. 場 所 西東京市立保谷第二小学校
3. テー マ 小学生も、地域のチカラ
4. 想 定 震度6程度の地震が連続し、水や電気が寸断される可能性がある
5. 概 要

- 防災体験学習を、発達段階に応じて、全学年で実施します。
- アクションカードを用いた避難所開設訓練を、全学年で実施します。  
…避難所運営のためにアクションカードを通して依頼された作業を、「避難者」の児童が担います。
- 避難所開設訓練には、保護者や地域住民も参画します。
- 防災体験学習と避難所開設訓練は、柳沢中と合同で開催します。  
…両校の避難者（参会者）名簿を、オンラインで共有するなどの試みをします。
- 当日の最後に、風水害発生 of 想定で、児童の引き取り訓練をして下校します。
- VR体験、電気自動車の電源活用、夜間パトロールなど、新たな内容を加えます。

（裏面に続く）